

平成29年度第1回花巻市健康づくり推進協議会会議録

1 開催日時

平成29年8月29日（火）午後1時30分～午後3時05分

2 開催場所

花巻市南万丁目970番地5

花巻保健センター1階 多目的ホール

3 出席者

(1) 委員 18名

三浦良雄委員(花巻市医師会会長)、杉原典子委員(花巻市保健推進委員協議会会長)、阿部裕子委員(岩手県中部保健所技術主幹兼保健課長)、畠山良彦委員(花巻市歯科医師会会長)、佐藤正昭委員(花巻市民生委員児童委員協議会理事)、晴山淳子委員(花巻市地域婦人団体協議会副会長)、箱崎陽介委員(花巻青年会議所理事長)、小田島克久委員(花巻市社会福祉協議会事務局長)、伊藤成子委員(花巻市食生活改善推進員協議会会長)、坂本秀樹委員(花巻市薬剤師会副会長)、野地富貴子委員(岩手県看護協会花巻支部福祉部長)、菅原哲子委員(岩手県栄養士会県央地区運営委員)、八木浩委員(花巻商工会議所企画振興課長)、佐藤勝士委員(花巻市スポーツ推進委員協議会会長)、小瀬川ちはる委員(花巻市法人立保育所協議会理事)、藤原美鈴委員(花巻市立幼稚園協議会理事)、佐々木孝子委員(公募委員)、鎌田修委員(公募委員)

(2) 市・事務局 8名

熊谷健康福祉部長、及川健康づくり課長、植田課長補佐、藤田課長補佐兼係長、晴山課長補佐、瀬川主任主査兼係長、蟹澤係長、小綿主査

4 会議の概要

委嘱状交付

会議の冒頭、熊谷健康福祉部長より新しい任期となる各委員に委嘱状を交付した。

委員及び職員紹介

晴山課長補佐が委員及び職員の紹介を行った。

(1) 開 会

晴山課長補佐が、協議会の開会を行った。

(2) 挨拶

熊谷健康福祉部長が挨拶を行った。

本来であれば、上田市長が出席いたしまして、皆様方に委嘱状の交付並びにご挨拶をす

るところでございますが、別用務がございましたので、私のほうから挨拶を申し上げさせていただきます。

本日は公私ともになにかとお忙しいところ、第1回健康づくり推進協議会に出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様方には、日頃から市の健康づくり事業に対し、なにかとご支援、ご協力を賜わり感謝を申し上げます。皆様方には今後2年間、健康づくりの推進について、協議会委員としてご支援を賜りたく、よろしくお願いを申し上げます。

市の健康づくりの推進につきましては、平成24年度から33年度までを計画期間とする「健康はなまき21プラン」に基づき各事業を実施しているところでございます。この「21プラン」につきましては、昨年度の中間評価の際に本協議会におきましても委員の皆様から貴重なご意見を頂き、事業の見直しを行ったところでございます。

プランの基本目標に掲げます「丈夫な体と、豊かなところを持ち、お互いに助け合い、健康で安心して暮らせるまちづくり」を実現するためには、皆様のご協力が必要でございます。委員の皆様方の忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

(3) 花巻市健康づくり推進協議会 会長・副会長の選任

晴山課長補佐が、会長、副会長の選任方法について委員に諮ったところ、事務局案があるなら提案してほしいと意見があり、事務局より会長に三浦良雄委員、副会長に杉原典子委員を提案し、出席委員より承認を得た。

その後、選任された三浦会長より就任のご挨拶を頂いた。

(4) 協 議

三浦会長を議長として進行

三浦議長

会議に先立ちまして、「花巻市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき本会議を公開とすることにご異議ございませんか。

異議なしの声あり

三浦議長

異議なしということで、本会議は公開といたします。

(1)平成28年度保健事業実施状況について (2)平成29年度保健事業計画については関連するので一括して議題といたします。事務局より説明を求めます。

植田補佐が別紙資料に基づき説明を行った。

三浦議長

皆様のご意見、質疑等を伺いたいと思います。各委員の各分野から一言ずつ頂きたいと思います。

杉原典子委員

保健推進委員については、委員になって良かった、健康志向が高まった、医師会・歯科医師会、薬剤師会の先生方のご協力によりまして健康アップ講座、保健大学等様々な研修を受ける機会が増え、家族や自分の健康について考える機会をもらったことをとても喜んでいるという声が届いております。保健推進委員の任期は2年で1期ですが、できるだけ多くの方に推進委員になっていただいて自分の健康を考えるということ、そういう底辺が広がれば受診率等さまざまな健康アップができるのではないかと考えております。花巻市は全国どこにもないピロリ菌の検診を行っており、これが評価されていると先生方からお聞きして胸をはっていいのではないかと考えています。若い方に検診の案内が行くとまず母親が敏感に反応して受けるように薦めているようで受診率もトップクラスですので、今後とも受診率を高めるように推進委員として啓発活動にがんばっていききたい。

阿部裕子委員

健康づくり事業につきましては、多々ご協力をいただきありがとうございます。花巻市については検診の受診率も高くいい事業に取り組んでいただいていると思います。平成28年度の食生活改善推進事業の脳卒中予防の啓発のところに、資料を2,000部作成とありますが、手作りの資料なのかどうか、どういったところに配布して、どのような活用をしたのか教えていただければと思います。

畠山良彦委員

2点お話しをしたい。21プランの中間評価をして、それに基づいて事業を軌道修正しますよというお話でしたが、21プランの3ページから、やや遅れが4分野、遅れが3分野ありますが、これを踏まえた上での29年度の事業計画なのかなということが1点。花巻市は他市町村に先駆けて歯科検診、歯周病予防検診、成人歯科健診に長年取り組んでいる訳ですが、そろそろ80歳の検診も高齢化に向けて取り組む必要があるのかなと実感しております。80歳は表彰事業でございます。歯科医院にいらした方で歯が20本以上ある方の表彰をさせていただいているだけで全80歳ではありません。花巻市もそろそろ一歩先を行ってもいいのかなと思います。これは要望ですので後日検討していただければと思います。

佐藤正昭委員

子育て支援家庭訪問事業は対象者が多いと思いますが、悩みを聞くことは大事なことだと思いますし、これからを背負う子供たちに目を向けることを続けてほしいと思います。

思います。私自身のことで節目の検診の案内を頂きますが、こういうことは必要だと思ひまして私も受けました。年配になると出かけるとかいろんな都合で受けない方とかあると思いますが、今後も続けて健康づくりに寄与していただきたいと思ひます。

晴山淳子委員

地域婦人団体協議会は保健事業について目標を持ってこうしたとかは無いのですが、この計画に基づいたものに対して関わっているものと思ひています。関係団体としていろんな方面から啓発活動やスポーツ面に関しては、取り入れた行事を持ったりしていますが、去年の実績を見ますと半分くらいの実績となっておりますので、もっと上がっていくように関わっていききたいと思ひます。母子保健事業で産前産後ケアの話がありましたが、今里帰り出産も多くなっています。里帰り出産であれば少なくとも3ヶ月ぐらひは滞在している形で病院ぐらひしか頼る所がないと思ひますので、こういう方を受け入れるような体制があればいいと思ひました。

箱崎陽介委員

資料1の②大迫生活習慣病対策30周年記念事業の所ですが、事業目的があつて、事業の成果が「意識向上につながった」とありますが、内容がどのような中身からこのような成果になっているのかが少々分かりづらひと思ひます。

もう一つは④歯科保健事業も目的と背景があつて、成果には「意識の高揚が図られた」とありますが、成果指標の目標値と実績値の達成率が見えてこないのかなと思ひまして、このような成果となっているところが分からなかったので質問します。

小田島克久委員

新規事業の産前産後ケアですが、いろんな相談に対応することと思ひます。相談を一つ受けるにもいろんな問題が複雑に絡んでいる状況でありますので、子供に関する部分もですけどそれ以外の課題とか問題点が見えてきた際には、市内に相談機関がありますし、社会福祉協議会も含めていろんな方につないでいただいて、漏れの無い形で対応をお願いしたい。担当外だから分からないということがないように対応していただければと思ひます。

子育て支援家庭訪問のところで生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を全戸訪問したとありますが、全国的には会えない世帯とかいると聞いていますので、花巻市では全世帯に訪問できているのかどうかを質問したいと思ひます。

伊藤成子委員

食生活改善推進員協議会は、行政の方から毎年30名前後の改善推進員の養成をさせていただきました。栄養士さんの指導の下、自分の健康は自分の手でということのスローガンにして市民の健康づくりのお手伝いをさせて頂いております。中でも脳卒中死亡率ワーストワンから奪回しようということで、昨日もアルテの方で塩分0.6から0.8パーセ

ントの味噌汁を振舞いながら、それから塩を使わず酢を使った夏野菜のお惣菜を提供しましたし、イーハトーブハーフマラソンのおもてなしをします。様々な分野からお声をかけていただいています。これからも皆さんのご協力を得ながら活動していきたいと思えます。何年か前にもお話ししたことがあります、がんを患った方達の悩みというか、一緒に話し合えるような場所が花巻市にはあるのかなということを質問させていただきます。受診率の向上を皆で啓発しているのですが、そういった後の、罹った方直った方もいろいろ悩んでいる方がいらっしゃる、そういった方の相談窓口があるのかをお伺いしたいと思います。

坂本秀樹委員

前年度からかかりつけ薬剤師ということを入れたので、市民からの問い合わせ等に対応できるよう勉強しているところです。健康アップ講座も含めてセルフメディケーションということで食事と運動が基本ですよ、薬はそれを手助けしているもので、あくまでも薬に頼らず食事と運動をきちっとやっていただくことを話しております。休日と夜間で24時間体制の相談に乗れるように努力はしています。夜間や休日の転送電話も個々に対応に取り組んでいるところです。救急医療確保事業の休日当番医は9時から5時まで内科・外科とありますが、17時以降から翌9時までの電話相談とありますが、私は受診の問い合わせには消防にやっている病院を確認してお伝えしていたのですが、それによろしかったのか確認したいです。

野地富貴子委員

看護協会の取組みについてお話したいと思います。看護の日のイベントとして地域の方々に血圧測定とか体力年齢とかを行い、約50人の参加をいただいて、地域の方に喜ばれました。毎年行っていますので、来年も行いたいと思えます。研修も年に2回ほど実施しまして看護の向上につとめています。看護協会でも地域住民の方の支援に参加させていただいております。

菅原哲子委員

検診率とか、特定保健指導の受診率とかその結果について伺いたい。食生活改善推進事業の脳卒中予防で私達もいろいろ食事について実施しておりますけど、その中で最近多く利用されているお惣菜の利用について、例えば高齢者世帯とか一人暮らし世帯の若い人が結構利用されているようです。その中で利用しないものを食べないのも心配なので、お惣菜の利用方法について栄養士会として考えていこうと計画を立てております。地域において食育講座は保健センター単位ではやっているのですが、足が無いということで地区の公民館が出席しやすいと思えますので、健康相談とか栄養講習とか年に1回とは言いませんけれどやれたらいいのかなと思えます。食改協の方もがんばっておりますけど、地域によって人集めが難しい所もあるので、その辺も考えてもらえたらと思えます。

八木 浩委員

商工会議所は花巻市地域の事業所の皆さんが会員になっていますので、その皆様方の健康は非常に大切に、健康な体が健康な会社を作ります。29年度の保健事業計画の中で生活習慣病の早期発見・早期治療、特定健康診査を実施するという計画がございますので非常に良いと思います。

佐藤勝士委員

28年度は成果が上がっているということで非常にいいと思います。スポーツ推進員はスポーツに関する理解や健康の予防等含めてやっていますが、協議会の委員としてここに座ってみると、どのように携わったらいいのかなと気になっています。実際にはスポーツをやって健康向上ということでやっていますが、これが反映されているのか見極めがつかず今日に至っています。これからそういう観点から見たいと思います。我々のやっていることが予防なのか含めて健康保健事業の推進につながっているか判断していきたい。ここに来ている団体以外にそういった考えでどの程度進んでいるのかが気になります。28年度の大迫生活習慣病対策30周年の成果として意識が向上したとありますが、これを大迫も含めて次の地域を転々と歩いて全域で分かるようにしていただきたいので、そのような計画があるのか聞きたいですし、スポーツ推進委員がどのように携わるのかも聞きたい。

小瀬川ちはる委員

28年度の母子保健事業の個別健診の所で、1人につき健診票を3枚配布されて、平均2.9枚使用ということですが、1ヶ月健診は必ず病院に行く、4ヶ月健診も大きくなったので行く状況だと思うのですが、10ヶ月健診になりますと、まあいいか7ヶ月健診でやっているからというところもあるのかなと思いつつ、この2.9枚というのは100%になるべきものと考えます。保健センターでやっている7ヶ月、1歳6ヶ月健診は確実にいらっしゃると思いますけど、個人に配布されている事であれば忘れたとか見過ごされている部分も多いのかなと受け止められる部分もあります。7ヶ月は保健センターで離乳食の指導をしていると思うのですが10ヶ月も離乳食の中期ということで大事な期間だと思います。この離乳食をないがしろにすると一生食生活に関しての子供たちの摂り方というものも保護者の食に関する事も忘れられがちになってしまい、私共としては離乳食の期間をきちんと保護者に伝え、0歳児から一生健康な体が基本でありますので10ヶ月健診も100%皆さんに受けていただきたいと思います。10ヶ月健診の状況はどうなっているのか伺いたいと思います。

藤原美鈴委員

歯科保健大会には毎年出席しています。普及啓発ということで虫歯の治療と注意勧告を出すのですが、その後その勧告後の状況はどうか回収するものがあります。その事が進んできたことによって、今まで1年2年も治療に行かなかった保護者が、意識が変

わってきまして、職員もまだ歯医者に行っていないようですけども働き掛ける良い機会になっていています。働きかけて行くことが大事だと思いますし、歯だけではなく、言葉とか食生活についてもつながっていくと思いますので、大事に進めていただければと思います。

佐々木孝子委員

私は昨年から岩手県健康いわて21プランの推進協議会委員をしています。私は35年ヨガを始めまして、姿勢の大事さ、また息育という呼吸法と、リハビリや介護に役立つような体幹の動きやストレッチとかを指導しています。県と花巻市とのつなぎの役目として関わらせていただきたいと思いますし応募した者です。私は実の父を自殺で亡くしておりますし、同居しているものも認知症で介護している状況です。自分は今後も指導という職をずっと続けていこうと思う中でいろんな資格を取っていますし、その他にも役に立つのであれば資格を取って自分を進化成長させていきたいと思っています。そういったことをこの機会に発していただけたらと思います。自殺ということもいろいろな関わりや原因とかある中で、資料のゲートキーパー養成講座というものはどういうものなのかをお聞きしたいです。

鎌田 修委員

この中で場違いな感じですが、私たまたま5月に心筋梗塞をやりまして、あんなのような人をいっぱい作らないように、経験を人に話してくださいということで応募しました。皆さんのようにバックボーンがある訳ではないですけど、心のケアにしろ、妊婦にしろ、これからますます子供たちの数が減っていくし自殺というか、今人と人の触れ合いじゃないネットの中でという付き合いの中で逆に自分のいる場所が分からなくなっている人がいっぱいいるのかなという気がしてなりません。この協議会があらゆる組織の解決の糸口なり内容発見につながるような会であればいいのかなと思います。

及川健康づくり課長

最初に畠山委員の21プランの中間評価で遅れとかやや遅れのところの、それを踏まえての今後の対応ということですけど、これを見直したのは今年の3月でしたので、本年度の予算や事業内容は決まっている状態でした。この中間評価を実質的には来年度からの事業に反映させていきたいと考えております。具体的にどこをどうお示しすることはできませんけれど皆様からいただいた評価の内容を今後の事業に反映させていきたいと思っています。

80歳以上の歯科検診も必要ではということでしたが、先日の懇談会でもお話を頂戴しました。歯科医師会さんと福祉と健康部門で今後の口腔衛生の部分、高齢化社会に向けてどのように取り組んでいくのかご意見を頂くことから始めたいと思います。なるべく早い時期に皆様の意見を聞いて具体的にどう進めていくのかを始めたいと思いますのでよろしくお願いたします。

畠山良彦委員

いつもお金の話で行政は逃げますが、できれば説明の所で、枠外でもいいのですけど、実はこういうことを考えていますよとか、そういうものを追加資料で出すとかすることによって委員さん方から意見が出てくる可能性があるんで、お金の話にならないと行政はやらないみたいなイメージは良くないと思います。実際来年度からだったらそれでもいいですよ。でもそういうことも考えていますとか、こういう課題がございますとか書いて頂かないと新任の委員は分かりません。ベテランの委員は分かるでしょうけども、これを中間評価した意味が無い。その辺をこれからお願いしたい。

蟹澤係長

晴山委員からの里帰り出産の支援については、市では市内の助産院に産前産後ケア・産前産後サポート事業を委託しておりまして、花巻市民であれば費用助成しているところですが、里帰りの方には助成はしていません。産前産後ケアについては費用がかかりますが受けていただいています。訪問や相談については住所地の市町村の依頼を受けながら対応しておりますので、ご相談いただければと思います。

及川健康づくり課長

伊藤委員のがんサロンや、受入れ窓口につきましては、深く医療に関わる緩和ケアに結びつくことでして、直接花巻市では医療の部署ではありません。県内の中部病院とか医大とか病院で緩和サロンをやっているところもありますし、自分達でサロンのようなものを作っている団体もあります。私共としてはそういうものをやりたいとなった場合は、出来る範囲で情報を集めておりますし、情報を提供もしくはアドバイスという対応をしています。

小綿主査

阿部委員さんからの脳卒中予防の啓発資料ですが、今配布しました「高血圧を予防する季節の食事」になります。こちらは食生活改善推進員が年間200回、4,000人の市民の方に脳卒中予防を啓発いただいておりますし、地域によっては保健推進委員さんと一緒に取り組んでいただいているものになります。前段の方は脳卒中予防のポイントですし、後半は地域で普及していただいている減塩の方法になっています。資料は食生活改善推進員さんと保健推進委員さんに配布しまして、まずはご自分と家族の健康、それから地域へと健康づくりの輪を広げていくための冊子です。

菅原委員さんの地域によってはその場所まで行けないということについては、食べて花まる健康講座は、学校や保健センター以外にも振興センター単位で行きますと周知しておりますので、皆様の近くで食育講座の要望がありましたら連絡をお願いいたします。

蟹澤係長

小田島委員さんからの家庭訪問が全世帯会えているのかということですが、去年は600名の対象に対して596名の訪問でした。4名については里帰りや長期滞在のため年度越えしましたが全戸訪問しております。お話のとおり1回でコンタクトが取れているかという4回5回と出向いてやっと会える方もありまして、正にそういう方にきちんと対応していくことが必要だと思っていますし、育児支援のみならず生活困窮だったり介護問題だったりいろんな課題がある中でそういう状況になっていることが見えた際には関係機関と連携を図りながら一緒に支援していけるようにしたいと思います。

小瀬川委員からありました個別健診は100%であるべきではないかということですが、県内・県外里帰りへの対応で償還払とか委託契約をして全員に受けていただける体制を進めています。去年の状況については、10ヶ月健診の受診率が一番高いです。私共2ヶ月までには全戸訪問していますのでそこできちんと健診票を使っていく指導をしていますので、各種集団健診や訪問や相談事業の中で今後も100%を目指して支援していきたいと思っていますので、保育所さんの方でも見守り支援等よろしくをお願いします。

及川健康づくり課長

大迫生活習慣病30周年事業のその後ですが、大迫フロンティア事業は30年の実績のある事業です。具体的には大迫4地域ありますが1年1地域ずつ4年かけて実施しています。1ヶ月間血圧測定をし、手帳に朝晩毎日つけたものを回収して、東北大学の先生が生活指導をするという内容です。場合によっては受診をすすめたりもします。成果としては病院で測る血圧よりも家庭で測る血圧が大事だよということで、それが家庭血圧の標準値ということで世界的に評価されております。家庭血圧は下が85、上が135ということでこれより高くなると高血圧ということでこれを目安に家庭血圧を測りましょうという内容です。これを大迫だけでなく市内全体へ展開してはということで検討しておりますが、まだはっきりした結論は出ていません。方向性としては、家庭血圧を含めた健康づくり事業の中で血圧測定を取り入れた形で取り組んでみたいと考えております。今年度中に事業の構想を立てまして来年度予算に計上したいと検討を繰り返しております。

坂本委員の夜間休日の電話対応ということですが、これについては市で花巻市医師会に日曜・祝日の当番医をお願いしております。内科1外科1これに付随しまして時間外の電話相談もお願いしておりますのでそこで対応していただいている状況です。

藤田課長補佐兼係長

箱崎委員さんの30周年事業の事業内容から成果が分かりにくいとご指摘がありました。この記載については検討してまいりたいと思います。

歯科保健事業の成果につきましても意識の高揚が図られたとまとめてはいるのですが成人歯科とか歯周病予防健診の受診率について若干低い数字で移行していますが、訪問歯科診療であるとか、母子保健の妊婦や2歳児フッ化物については増加しているということで、それらを網羅したものであります。

及川健康づくり課長

佐々木委員さんの自殺に関したゲートキーパーについてですが、うつとか回りにそういう方がいた場合にそれを発見してよりそって話を聞いて、必要であれば専門の機関に結びつけるということがゲートキーパーの役割です。そういう人を増やすため毎年養成講座を開いていますが、今年は花巻高等看護学校の生徒を対象に秋田大学の先生を講師にお招きして養成講座を開催しました。これを毎年継続していきたいと思います。

瀬川主任主査兼係長

菅原委員さんの特定健診率、指導率にお答えします。特定健診につきましては国保で40歳から74歳までの方を対象にしています。平成27年度の受診率が確定しまして、50.9%で県内の市の中ではトップになっています。28年度は49%ということで推計しております。28年度は今年度10月末頃に確定します。27年度の特定保健指導の実施率は資料には載せておりませんが19.7%となっております。28年度は推定ですが22.7%という状況です。内訳は積極的に指導が必要な方、中程度の方に実施しております。

三浦議長

あちこちに飛んでしまいましたので、項目ごとに取り上げた方が良かったかもしれません。健康を守っていくにはいろいろありますけど、医者立場からは病気にならないように予防医学が大切だと思います。平均寿命に健康寿命をできるだけ近づけるように、予防ワクチンの接種、健康診断、がん検診など行政と両輪となって手伝わさせていただきたいと思います。しかし一番大切なのは、個人個人一人ひとりの健康に対する意識があって、それを作らせることが我々の仕事だと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(4)の協議を終了し、議長は退席した。

(5) その他

晴山課長補佐が、「その他」について委員に諮り、委員からは何もなかった。

藤田課長補佐兼係長

今回の開催時期について、平成30年2月上旬頃と連絡した。

(6) 閉会

晴山課長補佐が閉会を行った。